

おくりもの

阿南市へ

●椅子(和座敷用) 20脚

下大野町 三枝道夫様から大野老人いこいの家の施設充実に品として

●金一億円

日亜化学工業株式会社様から阿南市LED防犯灯整備事業費として

●葉牡丹300鉢

新野町 匿名希望の方から市内小学校の環境美化として

●図書「続・象サンは行く」を阿南・那賀川・羽ノ浦図書館へ各2冊

富岡町 花芸安達流 神田寿瞳様から郷土資料として

阿南市社会福祉協議会へ

●金一封

那賀川町 磯部茂彰様から社会福祉事業運営基金として

以上、ご寄贈いただきありがとうございます。

仮庁舎への 移転のお知らせ

阿南市役所庁舎の建て替えに伴い、一部の課を仮庁舎等(旧阿南保健所、旧ハローワーク、那賀川支所・羽ノ浦支所等)へ移転します。

4月2日から移転する課等

【第2仮庁舎(旧ハローワーク)】

産業部農地整備課

【環境管理事務所】

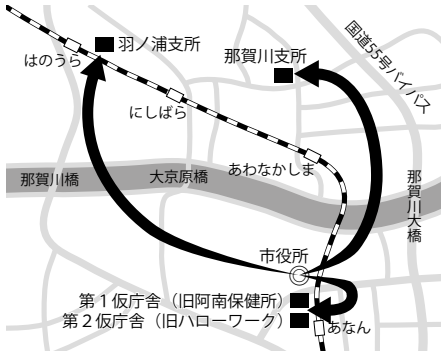
環境管理部環境整備課

【那賀川支所】

水道部 業務課・工務課

農業委員会事務局

※現在、分庁舎に配置している



他の課については、5月の連休に移転を予定しています。くわしくは広報あなん4月号でお知らせします。

問い合わせは 庁舎建設課(☎22-8285)へ

—市長通信—

お元気ですか

阿南市長 岩浅嘉仁



— 夫は太陽、妻は春風、子はひびり —

最近、地方の人口減少が顕著になってきました。私たちの阿南市も例外ではありません。出生数より死者数の方が多いことを、「人口の自然減」といいます。また、転入者よりも転出者が多いことを、「人口の社会減」といいます。

阿南市では、平成22年の1年間で生まれてきた赤ちゃんは636人、亡くなった方は945人。平成23年は、それぞれ575人、905人となっています。この傾向を押し量りますと、毎年300人を超える人口の自然減が続き、3年間で約千人の人口が減っていくこととなります。

最近、我が国の出生率の低下が国家的課題となつていますが、その大きな要因に、未婚化、晩婚化があります。子どもを持つか、持たないか。また何人持つかは個人の自由ですが、若者がまず結婚をしてくれないと、少子化を解決することはできません。

昨年6月の、国立社会保障・人口問題研究所の調査によりますと、18歳〜34歳の未婚者のうち「異性の交際相手がない」とする男性が61.4%、女性が49.5%に及び、いず

れも過去最高となりました。また、結婚願望を持つ未婚者は男女とも8割以上に上り、4割超が「結婚したくても、出合いの場がない」という実態が浮き彫りになりました。

昨年の未曾有の大災害を経て、夫婦や家族の絆が改めて見直され、未婚の男女は「誰かと支え合いたい」と真剣に願い、結婚したいと思う気持ちが高まっているそうです。

全国の自治体においても、愛知県東海市の「結婚応援センター」の開設や、東かがわ市の「マジ恋パーティー」等々、少子化対策や定住促進対策を具体化させています。阿南市におきましても、新年度から「婚活支援係(仮称)」を新設し、まず結婚、そして共働きでも安心して子育てできる環境づくりを積極的に進めてまいりたいと思います。

「夢のゆきついたところに結婚があるのではなくて、結婚から夢の実現がはじまるのです。」 小説家 山本周五郎

この言葉を阿南の若者に贈ります。阿南の若者よ、結婚しよう！